

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 3 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市中区海岸通2丁目4番
一般財団法人 神奈川県警友会

氏 名 代表理事 宮内 彰久

法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名

電 話 045-211-1212

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通2丁目4番
氏 名	一般財団法人 神奈川県警友会 代表理事 宮内 彰久

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	イッパンザイダンホウジン カナガワケンケイユウカイ ケイユウビョウイン
病院名	一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院

3 所在地

〒 220-8521 横浜市 西区みなとみらい3丁目7番3号 電話： (045) 221-8181

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	410床	410床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>5</u> 床 (主な設備) ・救急蘇生装置 ・救急カート 1台 ・人工呼吸器 1台 ・ジャクソン回路各ベット一式 ・徐細動器(日本光電)TEC-5531 1台 ・呼吸循環監視装置(日本光電)ICU部門管理システム一式 ・酸素濃度測定装置(日本光電)ICU部門管理システム一式 ・超音波診断装置Aplio300 1台(東芝メディカル) Venue40 1台(GE) ・血液ガス分析装置シーメンスラピッドポイント500e一式 ・内視鏡トローリー 1台 ・多用途血液処理装置 1台
中央検査室	(主な設備) ・臨床検査システムCLINILAN(A&T)一式 ・生化学分析装置BM6070(日本電子) 2台 ・全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルスG1200(富士レビオ) 1台 ・免疫発光測定装置ルミパルスL2400(富士レビオ) 2台 ・血液ガス分析装置RAPID point 500e(シーメンス) 1台
細菌検査室	(主な設備) ・血液培養装置バクテリアラードVRTUO(ビオメリュージャパン) 1台 ・同定・薬剤感受性パネル自動測定装置MicroScanWalkAway(ベックマンコールター) 1台 ・MicroScan autoSCAN4(ベックマンコールター) 1台 ・光学顕微鏡Ni-U(ニコン) 1台
病理検査室	(主な設備) ・顕微鏡 写真撮影装置付(オリンパス)BX-53 2台 ・ディスカッション顕微鏡(オリンパス)BX-50 1台 ・凍結組織切片作製装置マイクローム(サクラファインテック)他1台 ・自動染色ガラス封入システム(サクラファインテック) 1台
病理解剖室	(主な設備) ・電動ストライカー 1台
研究室	(主な設備) ・机 1台、椅子 1脚、電話機 1台
講義室	収容定員 <u>1</u> 人 室 数 <u>100</u> 室

施設名	施設概要
図書室	室数 <u>1</u> 室 蔵書数 <u>3,289</u> 冊程度 雑誌 <u>81</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>2</u> 台 (内訳: 救急車1台、医師搬送用緊急自動車1台) (主な設備) AED、吸引器, モニター, 酸素供給装置
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>19.8</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	90.4%
	①紹介患者数	12,956人
	②初診患者数	20,639人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,902人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	4,362人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	51人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	95.4%
	⑦逆紹介患者数	13,671人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	9人	歯科医師		看護師	10人
薬剤師	1人	臨床検査技師	1人	臨床工学技士	
診療放射線技師	1人	保健師		看護補助者	

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	14床
専用病床	0床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用 の可否
集中治療室	159.2m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生装置・救急カート 1台・人工呼吸器 1台 ジャクソン回路各ベット一式 ・徐細動器(日本光電)TEC-5531 1台 ・心電計(日本光電)ECG-1450 1台 ・呼吸循環監視装置(日本光電) ICU部門管理システム一式 ・経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置(日本光電)ICU部門管理システム一式 ・微量輸液装置テルモ輸液ポンプ、シリンジポンプ ・酸素濃度測定装置(日本光電)ICU部門管理一式 ・超音波診断装置Aplio300 1台(東芝メディカル) Venue40 1台(GE) ・心電図モニター装置(日本光電)ICU部門管理システム一式 ・血液ガス分析装置シーメンスラピッドポイント500e一式 ・内視鏡トロリー 1台 ・多用途血液処理装置 1台 	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
中央検査室	291.3m ²	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査システムCLINILAN(A&T)一式 ・分注機IDS CLAS2800 1台 ・生化学分析装置BM6070(日本電子) 2台 ・全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルスG1200(富士レビオ) 1台 ・免疫発光測定装置ルミパルスL2400(富士レビオ)2台 ・血液ガス分析装置RAPIDpoint500e (シーメンス) 1台 ・血糖測定装置GA08Ⅲ(A&T) 1台 ・HbA1c測定装置GR01(東ソー) 1台 ・浸透圧測定装置OM6060(アークレイ) 1台 ・富士ドライケムNX10N(富士フィルム和光) 1台 ・全自動赤血球沈降速度測定装置Smart Rate 10 1台 ・自動血球分析装置XN-3000(シスメックス)他2台 ・血液凝固線溶測定装置CP3000 (積水メディカル) 2台 ・尿自動分析装置 us-1200 (栄研) 1台 ・オーションマックス1台(アークレイ) ・便潜血全自動免疫化学分析装置OC-センサー PLEDIA(栄研化学) ・全自動輸血検査装置AUTOVEUINNOVA(オーソ) 1台 ・FFP解凍器 DRY SWING D2(エムテック) 1台 ・血球洗浄遠心機MC-450(日立工機) 1台 	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

細菌検査室	53.0㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・血液培養装置バクテアラートVRTUO (ビオメリュージャパン) 1台 ・ランプ法検査装置M-L302LoopampEXIA (栄研化学)一式 ・全自動遺伝子解析装置GX-II (ベックマンコールター) 1台 ・同定・薬剤感受性パネル自動測定装置 MicroScanWalkAway(ベックマンコールター) 1台 MicroScan autoSCAN4(ベックマンコールター) 1台 ・光学顕微鏡Ni-U(ニコン) 1台 ・CO2インキュベーターMCO-19AIC(SANYO)他2台 	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
病理検査室	47.0㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡 写真撮影装置付(オリンパス)BX-53 2台 ・ディスカッション顕微鏡(オリンパス)BX-50 1台 ・顕微鏡(オリンパス)BX-53 他7台 ・凍結組織切片作製装置マイクローム (サクラファインテック) 1台 ・パラフィン切片作成マイクローム (ヤマト光機) 2台 ・自動染色ガラス封入システム (サクラファインテック) 1台 ・自動免疫染色装置BOND-MAX (Leica)1台 ・密閉式自動固定包埋装置ティッシュテックVIP6 (サクラファインテック) 1台 ・パラフィン包埋ブロック作成装置ティッシュテック TEC5(サクラファインテック) 	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
生理検査室	41.6㎡	<ul style="list-style-type: none"> ・心電計ECG-2450(日本光電)他2台 ・運動負荷心電図測定装置STS-2100(日本光電) 1台 ・脳波計EEG-1214(日本光電) 1台 ・誘発電位検査装置MEB-9400(日本光電)他1台 ・肺機能検査装置CHESTAC-8900(チェスト) 1台 ・超音波診断装置Aplio-i700 (キャノンメディカル)他2台 ・循環器超音波検査装置VividE95(GE) 1台 ・超音波診断装置ARIETTS65(日立) 1台 ・血圧脈波検査装置(コーリン) 1台 	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

救急病院として、令和5年2月1日(更新)認定
※期間3年間のため、認定期間:令和5年2月1日～令和8年1月31日まで

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	5,746人
	(4,207人)
上記以外の救急患者の数	4,438人
	(1,857人)
合計	10,184人
	(6,064人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A: 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	
B: 救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,771,005人
C: $A/B \times 1,000 > 2$	0.0

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	683施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	683施設
医療機器共同利用件数	481件
共同利用病床数	2床
共同利用に係る病床の病床利用率	113%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他(デジタルエックス線テレビ装置)	<input checked="" type="checkbox"/>				
手術室	<input checked="" type="checkbox"/>	病棟2病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 無

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	
	無	590施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件一開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙:2024(R6)年度 研修内容 参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	12回
(2) (1)の研修参加者数	431人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	115.08㎡	(主な設備) ビデオ、プロジェクター、スクリーン、OHP、 マイク設備、シャーカステン、 会議机(2人掛け21箇所)、椅子102脚
図書室	56.76㎡	(主な設備) 単行本3,289冊、雑誌81誌 インターネット完備、 複写機
研究室	7.40㎡	(主な設備) 机1個、椅子1脚、電話機1台
		(主な設備)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	事務局長	
管理担当者(役職名)	地域医療連携課長	
保管場所		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	個別に保管 病歴室に保管(病院情報システムサーバコンピュータ室) 診療録に添付 (患者番号8桁のうち下1桁のチェックデジット (病歴管理はICD-10で分類) 電子カルテシステム 「MegaOakHR」 ↓ 2025年(令和7年)2月より 電子カルテシステム 「NEWTONS2」へ移行 医用画像保管伝送システム(PACS)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課
	救急医療の提供実績	地域医療連携課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携課
	閲覧実績	地域医療連携課
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療連携課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	院長		
閲覧担当者(役職名)	地域医療連携課長		
閲覧の求めに応じる場所	図書室・維持相談室		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	3回
委員会における議論の概要	
<p>令和6年6月(書面開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 けいゆう病院における地域医療連携の現状等について 働き方改革の影響 <p>令和6年10月31日(集合開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 けいゆう病院における地域医療連携の現状等について 令和6年度前期ホットラインの結果 けいゆう病院救急センターについて 横浜マラソン開催に伴う院内救護所の設置について <p>令和7年1月(書面開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 けいゆう病院における地域医療連携の現状等について 	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 「その他」記入欄 相談室、患者図書室
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	・ソーシャルワーカー ・看護師 ・医事課員 ・地域医療連携課員 ・司書
患者相談件数	5,526件
患者相談の概要	
<p>1 相談項目</p> <p>(1) 経済的問題 (2) 家族的問題 (3) 受診・受療問題 (4) 療養中の心理・社会的問題 (5) 諸制度利用 (6) 入退院時調整 (7) 他機関紹介 (8) 病状関連(確認、情報提供等) (9) その他</p> <p>2 諸対策</p> <p>○ 地域医療連携課に看護師を配置するとともに、ソーシャルワーカー4名体制にて各相談室・窓口等に医療相談、医療安全相談員の担当者氏名、責任者と受付時間を掲示して、患者様が気軽に安心できる相談体制を確立し、患者様の利便性を図っている。</p> <p>○ 司書常駐の患者図書室(インターネット完備)では、入院・外来患者等延べ3,842人 ※医療情報に関するレファレンスサービスは15件 ※その他に関するレファレンスサービスは0件</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期			

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要			

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要			

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容			
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組			

一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院共同利用制度運営要領

平成26年4月1日

第1 総則

1 目的

この要領は、神奈川県警友会けいゆう病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を横浜市西区、保土ヶ谷区、旭区、瀬谷区、泉区、戸塚区及び中区を中心とした近隣地区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度について

共同利用制度の内容は、次の5種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療器械利用型共同利用
- (3) 施設利用型共同利用
- (4) 研究部門利用型共同利用
- (5) 研修会等参加型共同利用

3 紹介患者診療型共同利用等を利用する医師等の遵守事項

紹介患者診療型共同利用、医療器械利用型共同利用、施設利用型共同利用を利用する登録医又は登録歯科医（以下「登録医等」という。）は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、地域医療連携課または庶務課にて事前に申請をしてから利用する。
- (2) 利用に際し必要物品（白衣、聴診器等）を貸与する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

4 医療事故等の対応

共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第2 医療機関等の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の登録名は、医療機関名又は保険薬局名をもって登録するものとする。

3 登録の対象医療機関等

共同利用制度において登録できる医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）は、地域に所在する医療機関等とする。

4 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により病院長に申請するものとする。
- (2) 病院長は、申請内容を審査し利用登録を承認した場合は「共同利用制度登録機関名簿」

にその登録機関の名称、所在地、共同利用制度を利用する医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

5 登録機関証の発行

「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関又は保険薬局に対しては、登録機関証を発行する。

6 登録内容の変更

- (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登載された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には「共同利用制度変更登録申請書」によりその変更を行うものとする。
- (2) 変更申請がされた場合の処理については、その申請時の場合の処理に準ずる。

7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対しその旨申し出をし、登録機関証を返還しなければならない。

8 登録の取消

登録医等に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的として診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用をできる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 共同利用のための専用病床

当該共同利用のための専用病床として、2床を確保する。

4 事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室又は庶務課に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の内容

地域医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが病院内の医療器械を共同利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用をできる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 対象医療器械

当該共同利用をできる医療器械は、次のとおりとする。

- (1) コンピューター断層撮影装置（CT）

- (2) 磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MR I)
- (3) デジタルエックス線テレビ装置
- (4) 心臓超音波検査装置
- (5) ホルダー心電図装置

第5 施設利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の内容

当院の施設を地域の医療従事者に開放し、医療従事者の診療、研究又は研修のために利用させることを目的とした共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用をできる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 対象医療器械

当該共同利用をできる施設は、手術室とする。

第6 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同内容

当院の研究部門の機能を地域の医療従事者に開放し、その研究活動を支援する。

2 利用できる対象者

当院に登録した医療機関の医師、歯科医師、その他の医療従事者及び当院に登録した保険薬局の薬剤師とする。

3 共同利用の対象となる施設・設備

図書室及び研究室とする。

ただし、個人情報に係るもの及び当院設置のコンピューターは除く。

第7 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の内容

病院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、相互研鑽を図る。

2 利用できる対象者

地域の医師、歯科医師、看護師その他の医療従事者とする。

3 研修会の参加は、年間予定表及びその他各科で開催する研修会をその都度利用者に周知させ参加を促進する。

附則

平成16年6月1日 制定

平成26年3月31日 改訂

	研修開催委員会等	研修内容	実施日時	院外
1	けいゆう病院産婦人科病診連携会	婦人科良性手術、婦人科悪性腫瘍、当院産婦人科のアピールポイント、今後の課題	4月11日	31
2	けいゆう病院外科病診連携会	胃癌、大腸癌に対するロボット手術、食道癌に対する集学的治療について	6月6日	13
3	けいゆう病院小児科病診連携会	医師と患者関係のコミュニケーション、症例報告 Shared Decision Making 小児アレルギー診療の質の視点から	6月18日	33
4	けいゆう病院循環器内科病診連携会	循環器疾患を予防する脂質管理の重要性、症例報告 新しくなったペースメーカー治療:リードレスペースメーカーについて	6月20日	20
5	腎臓内分泌代謝科地域連携の会	原発性アルドステロン症の診療・Update なぜ今、腹膜透析なのかについて	9月5日	24
6	横浜みなとみらい乳癌病診連携 懇話会	診療体制・治療方針を中心に	9月13日	21
7	令和6年度疾患別医療・介護連携事業における多職種連携研修会	心不全患者さんの再入院を防げ！ 他職種で取り組む心臓リハビリテーション	10月8日	53
8	第一回けいゆう病院市民講座	知ってほしい胃がんのリスクとなるピロリ菌と生活習慣 あきらめない最新の胃がん治療	10月26日	42
9	第二回けいゆう病院市民講座	乳がんの基礎と最新の治療 乳房セルフチェックの方法	11月9日	39
10	横浜市西部SAS地域連携WEB セミナー	SASの診断・治療における地域連携	11月15日	67
11	けいゆう病院眼科病診連携	当院のニューデバイス 日常診療がどう変わったか 間欠的急性隅角閉塞を繰り返した眼内レンズ挿入眼の一例	11月21日	28
12	けいゆう病院市民啓発講演会	知って防ごう心不全、自分の体を知ろうフレイル評価と心臓病予防 実践・実演自宅のできる心臓リハビリテーション	11月30日	60